

2026年1月20日
一般社団法人 日本クラウド産業協会
(クラウドサービス情報開示認定機関)

クラウドサービス情報開示認定機関 ASPIC、「高精度・効率的に反社チェック可能なサービス」及び「ERP システム(統合基幹業務システム)」の SaaS 2 件を新たに認定。

創立 25 周年記念 新規申請手数料無料キャンペーンも実施中

一般社団法人日本クラウド産業協会(通称:ASPIC)(東京都品川区西五反田、会長:河合 輝欣)は、2026年1月19日、クラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示認定機関として申請された2件のクラウドサービスについて第73回認定審査委員会にて審査した結果、認定機関の定める審査基準に従って「安全・信頼性に係る情報開示」が適切に行われていることを認定いたしました。

本情報開示認定制度は、平成19年から総務省ご指導の下、ASPICが立ち上げ・推進しており、利用者が安心して利用できるクラウドサービスの普及推進を図っています。

今回の認定により、累計 336 サービス、225 社が認定されました。

1. 申請されたサービス(届出順)

○認定区分: ASP・SaaS(2 サービス)

- (1)【会社名】ソーシャルワイヤー株式会社
【サービス名】RISK EYES
- (2)【会社名】株式会社スマイルワークス
【サービス名】クラウド ERP システム「SmileWorks」



図1 新規認定サービスのロゴと該当する(赤○)クラウドサービス安全・信頼性情報開示認定制度認定マーク

以下、新規認定サービス及び直近で認定を更新したサービスを紹介します。

認定サービスの開示情報につきましては、利用者が比較、選択等する際の参考に利用いただけるよう、認定機関 ASPIC ホームページに掲載しております。

(<https://www.aspicjapan.org/nintei/>)

2. 新規認定サービスの概要

新規認定した **2 サービス** の概要を示します。今後も申請があったものから順次、審査を行い、情報開示が適切と判断されるサービスを認定していく予定です。

■ASP・SaaS 申請：2 サービス(2 事業者)

No	サービスの名称	事業者の名称	サービスの概要
1	RISK EYES	ソーシャルワイヤー株式会社	取引先の反社会的勢力との関係性や犯罪関与、不祥事等の情報を、WEB ニュース記事、新聞記事などの公知情報から精度高く効率的に確認できるサービス
2	クラウド ERP システム「SmileWorks」	株式会社スマイルワークス	販売管理・仕入管理・在庫管理・入出金管理・経費精算・給与計算・年末調整・財務会計など、企業のバックオフィス業務を統合して、自動会計仕訳や資金繰り表の自動作成を実現する統合型業務クラウドサービス

3. クラウドサービス情報開示認定機関事務局からのお知らせ

(1) ASPIC25 周年記念新規申請手数料無料キャンペーンのお知らせ

ASPIC 情報開示認定機関では、ASPIC 創立 25 周年を記念して、「2025 年 10 月 1 日より 2026 年 11 月 19 日までの間に審査対象となったクラウドサービス」の新規認定手数料を無料とするキャンペーンを行います。この機会に是非認定取得をご検討下さい！

①キャンペーン内容

対象：下記の期間に新規に申請されるクラウドサービス（認定区分の乗換えも新規申請扱い）

期間：2025 年 10 月 1 日～2026 年 11 月 19 日

（この期間内の情報開示認定審査委員会で審議されること）

②注意事項等

- ・情報開示認定審査委員会の日程は、ある程度の審査対象サービスが集まった時点で、情報開示認定機関事務局（以下、事務局）が設定します。（審査会の日程は、情報開示認定ページの「お知らせ」にて周知致します）

- ・審査対象サービスとは、正式に申請資料一式を情報開示認定機関事務局に提出、事務局審査を経て情報開示認定審査会の審査待ちとなっているサービスを言います。

- ・事務局に正式資料を提出する前に、申請書 B をある程度記述したしたら事務局窓口までご送付頂いたら、内容チェック等の添削を行います。お気軽に事務局までご相談ください。

(2) その他の特典

- ・新規情報開示認定を取得されたサービスの紹介サイト「アスピック」掲載料半年間無料

4. 認定更新サービス一覧

令和7年12月から直近までで認定更新した、**5 サービス**を下記に示します。認定の有効期間は認定日より2年間有効です。

■更新申請 2 サービス(2 事業者) 認定更新日:令和7年12月2日

No	認定番号	サービス名称	事業者名称	サービスの概要
1	0108-1012	V-CUBE	株式会社バイキューブ	Web 会議、オンラインセミナー、コンタクト業務を支援するセールス & サポート機能、動画配信、コンテンツ管理機能などを総合的に提供するビジュアルコミュニケーションサービス
2	0112-1012	エマージェンシーコール	インフォコム株式会社	緊急時におけるメッセージや連絡、災害時などの安否確認をパソコンの Web、携帯電話の Web、電話(音声)など、多彩な通信手段により、スピーディかつ確実にを行う安否確認サービス

■更新申請 1 サービス(1 事業者) 認定更新日:令和7年12月21日

No	認定番号	サービス名称	事業者名称	サービスの概要
1	特個 0001-1712	スパイラルマイナンバー管理サービス	スパイラル株式会社	従業員や個人支払先からのマイナンバーの収集・保管・廃棄までをセキュアなシステム基盤で実行、カスタマイズも柔軟に対応できるクラウド型のマイナンバー管理サービス

■更新申請 2 サービス(2 事業者) 認定更新日:令和 7 年 12 月 23 日

No	認定番号	サービス名称	事業者名称	サービスの概要
1	0229-1912	CYAS	株式会社 CYLLENCE	訓練対象者に標的型攻撃メールを模した訓練メールを送る訓練機能およびeラーニングや理解度テストなどの教育機能を備えた企業・団体向け総合セキュリティ教育サービス
2	IoT0002-1912	SkyScraper	株式会社NJS	上下水道設備の運転状況遠隔監視、下水道管路内水位情報や雨量情報のリアルタイム取得による排水設備の運転最適化、浸水状況予測による住民への浸水・避難情報提供を可能とする IoT クラウドサービス

5. 情報開示認定制度の経緯と現状

平成 19 年、ASPIC は総務省の受託調査研究により ISO27001 を参照した ASP・SaaS の情報セキュリティ対策ガイドラインの策定を行いました。並行して、総務省と ASPIC が合同で「ASP・SaaS 普及促進協議会」を立ち上げ、この協議会で、ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示指針の策定を行い、この指針をもとに平成 20 年 4 月、「ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」を創設し、認定機関を FMMC、認定業務運営を ASPIC として認定制度が開始されました。また、平成 29 年には認定機関を FMMC から ASPIC に移管し、以降 ASPIC が自ら情報開示認定機関として制度の推進等を行っております。

これまでに認定されたサービスは、**累計 336 サービス、225 事業者**となっています。

以降の経緯は下記リンクを参照ください。

<https://www.aspicjapan.org/nintei/about.html>

6. 本件連絡先（申請受付窓口）

一般社団法人日本クラウド産業協会
クラウドサービス情報開示認定機関 事務局
〒141-0031
東京都品川区西五反田 7-17-7 五反田第 1 note ビル 5F
担当 : 岩田・池田・尾坂
TEL : 03-6662-6854
Fax : 03-6662-6347
mail : aspic@cloud-nintei.org
認定サイト : <https://www.aspicjapan.org/nintei/>